

Improvements of SAT Solving Techniques and Their Application to the Coalition Structure Generation Problem

査, 澳龍

<https://hdl.handle.net/2324/1959138>

出版情報 : Kyushu University, 2018, 博士 (情報科学) , 課程博士
バージョン :
権利関係 :

氏 名	査 澳龍
論 文 名	Improvements of SAT Solving Techniques and Their Application to the Coalition Structure Generation Problem (SAT技術の改善とその提携構造形成問題への応用)
論文調査委員	主 査 九州大学 准教授 藤田 博 副 査 九州大学 教授 横尾 真 副 査 九州大学 教授 趙 建軍

論 文 審 査 の 結 果 の 要 旨

本論文は、純リテラル除去ならびに矛盾学習機能の強化による SAT ソルバーの高速化、混合基数制約符号化に基づく MaxSAT ソルバーの高性能化、および MaxSAT ソルバーを応用した提携構造形成問題の解法に関して、著者独自の手法を提案し、それらの有効性を実証したものであり、情報学に寄与するところが大きい。よって、本論文は博士（情報科学）の学位論文に値すると認める。